

文教厚生委員長報告(概要)

承認1件を承認、議案3件を原案可決、認定2件を認定

田中 廣
委員長

【承認第6号】専決処分の承認を求めることについて(令和3年度南島原市一般会計補正予算(第7号))

(教育委員会関係)

概要 8月11日からの大雨により被災した、北有馬ふれあい交流広場の法面復旧、及び日野江城跡本丸南側崖面復旧に関する測量設計委託料についての補正。

質疑 ふれあい交流広場は、この前も崩落があったと思うが、どのような工法を考えているのか。

答弁 盛土のため、水を含んだ場合に、今回みたいに地滑りをしたということである。荷重を減らしたり、水を抜くような工法を今検討している。

質疑 日野江城跡の関係で、今崩れているところは地盤が弱く、県道のほうから見て右側のほうが、いつも崩れる。文化

庁等に対しては、どのような要望をしているのか。

答弁 日野江の崖面の崩落については現在、9月1日に専門委員の先生に来ていただいて、現場を調査していただいている。文化庁に対しては、防災事業として取り扱っていただくように、お願いをしている。

【議案第44号】令和3年度南島原市一般会計補正予算(第8号)

(教育委員会関係)

概要 国のGIGAスクール構想の実現に向け、小学校1年生から3年生児童が使用する1人1台用端末939台分(児童880台、教師59台)の購入費5,601万2千円と中学校教職員が使用する1人1台用端末51台分280万円の増額が主な補正。

質疑 今回は、低学年の

タブレットの導入であるが、前回4年生以上に導入をしている。導入について課題はないのか。それから、WiFiがつながっている家庭はいいが、つながっていない家庭には、どのような対応をしているのか。

答弁 タブレットの配布についての課題は、児童・生徒を指導する教職員の技量向上である。そのため、いろいろな研修を積み重ねているところである。WiFiの接続環境がない家庭については、LTE機を貸与しているところである。

【認定第2号】令和2年度南島原市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

質疑 令和2年度に受診した特定健康診断者の人数、割合は。

答弁 5月末現在で、令和2年度の特健康診受診率は36・1%である。

質疑 加入者の年齢構成が高くなってきている。それによって医療費が増加

していくが、どのように考えているのか。また、国保税を滞納すると、短期保険証や資格証明書を発行しているが、今どのくらいなのか。

答弁 国保の高齢化率に關しては、一般会計も含め、若年者からの健診を進めているところである。早い段階から、特定健診の受診を促すようにし、医療費の抑制を図るようになっている。また、短期保険証の件数が、現在398件、資格証明書が41件である。

質疑 国保税の滞納者に対しては、催促など発行したり、また訪問もされると思う。金銭的に困難な人が対象と思う。資格証明書など発行しなくてもいいように、幾らかでも払っていただくことは、考えているのか。

答弁 短期保険証や資格証明書については、各担当が滞納者に連絡を取って、窓口相談に来ていただき、経済状況など見ながら分割納付など、相

談しながら進めているところである。

反対討論

医療器具等、技術が高くなったので医療費が上がるとの答弁があるが、そのような捉え方ではなく、国からの財政の投入を行い、医療技術が上がっても国保は上がらないようにしないと、収入が少ない人が加入されているので、悪循環が続いていくと思う。その努力が見られないので、反対する。

【認定第4号】令和2年度南島原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

質疑 国民年金から後期高齢者医療保険料を差し引かれている特別徴収者と、普通徴収者の数は。

答弁 特別徴収に関しては、数自体が把握できないところがある。それは、特別徴収と普通徴収の併用徴収。例えば、所得が上がった方に対しては、4月から7月分までを特徴として、8月以降を普徴に切り替えるなどの制

度があるので、数の把握は難しい。

反対討論

後期高齢者医療制度は、75歳以上を完全に分断して、高齢者を囲い込んで、良い医療が受けられない。後期高齢者だけに、保険料を払わなければならない。差別的な状況であるので反対する。

(その他の付託案件)

【議案第40号】南島原市条例の一部を改正する条例について

【議案第45号】令和3年度南島原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

